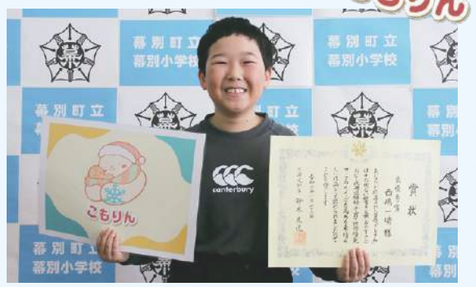
まちのわだい

町内の主なできごとと、頑張っているみなさんの姿をお伝えします！

妊婦・子育て世帯優先マークの愛称考案



幕別小学校の西嶋 一晴さん（３年生）が考案した「こもりん」が北海道妊婦・子育て世帯優先マークの愛称に825作品の中から選ばれました。

西嶋さんは「子どもを守る**子守り**とマークの丸い形の**ころりん**という言葉を合わせて名付けました」とにっこり笑顔で話してくれました。

今後は北海道の子ども・子育て施策の啓発活動などに活用されます。

2/6

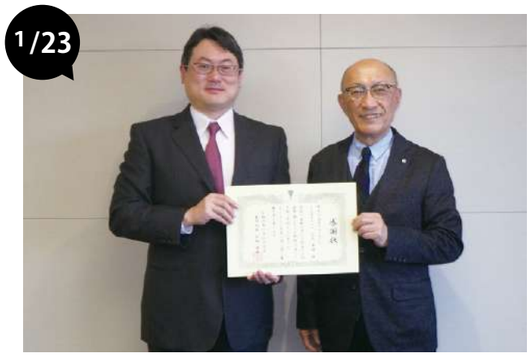
札内東中学校

オリンピアン・山本幸平さんと交流

幕別町応援大使の山本幸平さんが母校の札内東中学校を訪問しました。マウンテンバイクでオリンピックの出場経験がある山本さんですが、この日はバスケットで２年生と交流。

生徒は競技に合わせたストレッチの指導を受けたあと、シュート練習やゲーム形式で先輩の山本さんと心地よい汗を流しました。

1/23



企業版ふるさと納税

株式会社セイコーマートに感謝状

コンビニエンスストア、食品製造などの事業を展開する株式会社セイコーマート（札幌市）から、企業版ふるさと納税を活用した寄附金を頂きました。この日、飯田町長から代表取締役社長の赤尾洋昭さんに感謝状を手渡しました。

今回の寄附金は、高校生世代までの医療費を無料とする「子ども医療費助成事業」に活用させていただきます。

1/10

しらかば大学ナウマン校

交流会で練習の成果を披露

しらかば大学ナウマン校の新年交流会が忠類コミュニティセンターで行われました。菅野学長からの挨拶のあと、学生らが日頃から練習に励んでいるカラオケやダンスを披露しました。

また、レクリエーションとして行われたモルックなども楽しみました。

2/18

進め！ゲレンデのどまんなか！

グッドデザイン賞

忠類埋蔵金拾い（子どもの部）

第41回 忠類 ナウマン 全道そり大会

白銀台スキー場で開催された「第41回忠類ナウマン全道そり大会」に33組86人が参加しました。残念ながら、今年は積雪不足によりゲレンデが営業休止中。そこで、通常はゲレンデ南側のそりコースを滑走するところ、ゲレンデのどまんなかにコースをつくり、参加者は今回限りの特別なコースでレースに臨みました。

段ボール製のそりの出来栄えを競うグッドデザイン賞は「ホワイトベース」を制作した明倫地球連邦軍が金賞に、タイムを競うスピード賞はおよそ130mのコースを10.15秒で滑走した「かわいいスピードスター☆」の蝦夷マルとのんべぇな仲間達が１位に輝きました。

2/2

忠類保育所

鬼はそと、福はうち！

忠類保育所で節分の行事が行われました。子どもたちは節分についての紙芝居を見てから、鬼のお面をつけて、「泣き虫鬼」などの自分の中にいる追い出したい鬼を１人ずつ発表。

その後、みんなで豆まきを行い、最後には豆拾い競争も行いました。

1/25

石山 マサノさん（大正13年１月24日生）

100歳おめでとうございます！

100歳の誕生日を迎えられた石山マサノさんが入所するふらっと札内で、セレモニーが行われました。

ダンスやカラオケが好きで、70代後半から老人クラブの会長を務めるなど活発に過ごしてこられたという石山さん。最近は、家族に会えるのが楽しみで、面会時は大変喜ばれるそうです。長男の文博さんは「これからも元気で楽しく過ごしてほしい」と、家族を代表してメッセージを贈りました。

幕別町 × ゼロカーボン行動 十勝宣言 TOKACHI

▶地球を守る。未来を守る。そのために今できることを。

環境ナビ

問 防災環境課 地域環境係（☎㊕54-6601）

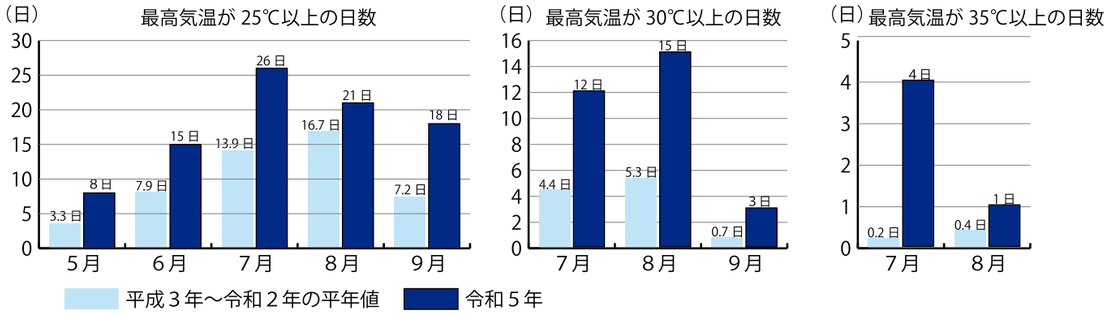
◆幕別町で聞こえる地球温暖化の足音

近年、世界中で猛暑が続いており、異常気象が原因と考えられる災害が多く発生しています。みなさんも、令和５年の夏は例年以上に暑く感じた方も多いのではないでしょうか。

そこで、幕別町のこの夏の気温が過去30年間と比べてどうだったのか検証したので紹介します。

下に示すとおり、この夏は最高気温25℃以上（夏日）、30℃以上（真夏日）、35℃以上（猛暑日）の全てにおいて、過去30年間の平年値を大きく上回っており、地球温暖化の影響は幕別町にも顕著に表れてきていると言えるのではないでしょうか。今、対策を講じなければ、さらなる深刻な問題が起こるのも時間の問題かもしれません。

地球温暖化は、決して他人事ではなく、私たちにとって身近な問題となってきており、一人ひとりの行動が大切です。冷暖房の温度設定を変える、アイドリングストップなどの省エネ行動の積み重ねが大きな効果となりますので、自身ができることを行いましょう。



◆春の全町一斉クリーン作戦を実施します

雪解けとともに、道路脇にはポイ捨てされたごみが目立ってきました。ごみのないクリーンな町にするため、春の全町一斉クリーン作戦を次のとおり実施しますので、積極的な参加をお願いします。

【春の全町一斉クリーン作戦】

▶日　時　４月20日㊏　午前８時30分～　（午前10時終了予定）
※集合時間は、午前８時20分
※雨天の場合は、５月11日㊏に延期します。

▶場　所　申し込み後、参加者に連絡します。

▶対　象　小学生以上の方。事業所でも申し込みできます。

▶内　容　道路、公園のごみ拾い

▶持ち物　清掃用具（軍手・ゴム手袋・長靴・火ばさみ）

▶申し込み　３月22日㊎までに次の担当まで申し込みください。（期日厳守）
①防災環境課地域環境係　☎㊕54-6601
②忠類総合支所地域振興課　☎㊟８-2111
③札内支所　☎㊕56-2111

◆ごみカレンダー（令和６年度版）を配布しました

地区ごとのごみ収集日やごみの出し方、分別方法をお知らせする「ごみカレンダー」の令和６年度版を配布しましたので、自宅に届いたか確認ください。届いていない場合は、防災環境課地域環境係または忠類総合支所地域振興課住民生活係まで連絡ください。（防災環境課、忠類総合支所地域振興課、札内支所にも置いています）

本町では、ごみの減量化と３Ｒ（発生抑制、再利用、再生利用）の推進に取り組んでいます。「ごみカレンダー」や「ごみ分別パンフレット」、町ホームページの「ごみ分別辞典」を確認し、適正なごみの分別に協力ください。

テーマ　自助・共助・公助、自主防災組織

共助と自主防災組織の役割を知ろう！

問 防災環境課 防災危機管理係（☎㊕54-6601）

もしも、に備えよう 防災ナビ

災害時の助けは『自助、共助、公助』によって行われます。今回は改めて自助・共助・公助の役割を知り、特に共助について考えてみましょう。

個人・家族など
自助

「自らの安全は、自らが守る」これが防災の基本です。自分の手で自分・家族・財産を守る備えと行動を『自助』と呼びます。

隣近所・事業所などの地域コミュニティ
共助

「わがまちは、わが手で守る」これが地域を守る最も効果的な方法です。近隣のみなさんと協力して地域を守る備えと行動を『共助』と呼びます。

行政組織
公助

町をはじめ、消防・警察・国・道といった行政機関、ライフライン各社の応急対策活動を『公助』と呼びます。

特に大規模災害では公助の割合が小さく、**自助７割、共助２割、公助１割**ともいわれます。阪神淡路大震災では地震によって倒壊した建物から救出され、生き延びることができた人の約８割が家族や近所の住民の救助によるものだったという調査もあります。

自主防災組織とは

「自主防災組織」とは、「公」（行政）ではできない部分、「私」（家庭）だけではできない、地域の安全にかかわる部分をカバーする組織です。

≪平常時≫
・災害に備えた訓練や防災研修を行う。
・地域の中で避難が難しい人をあらかじめ把握し、支援計画を立てる。

≪災害時≫
・地域の中で避難が難しい人の安全確認を行う。
・避難誘導や避難支援、救出救護を行う。
・避難所の運営、給食給水のような、さまざまな共助の活動を行う。

災害時には、地域の人たちを見知っている自主防災組織だからこそできる共助があります。また、自然災害に限らず火災などでも同様です。

●自主防災組織をつくりませんか

地域で作る自主防災組織は「役場のための組織」**ではありません**。自分たちの住む地域を自分たちで守るための組織です。町では、自主防災組織の立ち上げのお手伝いとして、地域の集会などでの出前講座や、個別の相談も実施していますので、気軽に連絡ください。

また、地域の自主防災組織の活動に対して、次の表のような支援も行っています。

●自主防災組織に対する支援

幕別町協働のまちづくり支援事業の町内会防災活動支援事業で、次のとおり、町から町内会に対し交付金を交付しています。

交付対象	防災計画の策定、避難用非常持ち出し袋の整備、避難訓練等の実施に係る経費	
交付率（限度額）	防災計画の策定	１/１（100,000円まで）
	避難用非常持ち出し袋の整備	１/３（１セット1,000円まで）
	訓練等の実施に係る備品および防災資機材等購入の経費	２/３（100,000円まで）
	訓練等の実施に係る消耗品等の経費	１/１（20,000円まで）
実施基準	防災計画の策定が必須	

▶防災情報メール
二次元コードから、または下記アドレスへ空メールを送信し、登録ください。
touroku.makubetsu-town@raiden.ktaiwork.jp

▶幕別町防災公式ＬＩＮＥ
二次元コードを読み込み、「友だちに追加」で登録ください。
ＩＤ検索はコチラ⇒⇒⇒@makubetsu